

来たってや!

ロボットのつながる街・大阪ツアー



ここ最近、ロボット関連ニュースに「大阪」という単語がよく登場する。気になるロボットも、よく聞くと「大阪」の企業が関わっていたり、ロボットにかかわるスポットやイベント



もいろいろ行われている。そんなにいるいるあるのなら、行っちゃったほうが早いんじゃない? ということでロボマガ編集部の高橋嬢が一念発起。スポット観光からイベント出場まで、1泊2日で行ってきました、大阪ロボットツアー!

あずさ 梓 みきお

熱い大阪ツアースタート! まずは「くだおれ」!

企画のスタートは、ロボコンマガジン編集部の新入・高橋嬢が「大阪気になりますよね」とこぼした発言からでした。昨年から盛り上がりが見られる大阪に、うら若き乙女の皮をかぶりつつ、その中に学生時代から培われたロボットへの偏愛がぎゅっ詰まっている高橋嬢は、行きたくて仕方なかったのです。

そのセリフに、「そうっすねー。ツアーとかできそうですよ」と答えたのが運の尽き。あれよあれよと言う間に企画は決定。「ロボアスリート」に出場する手はずまで整えて、大阪ツアーを組んでしまったのです。恐るべし高橋嬢。

高橋「名づけて“ホットスポットぐるっと一巡り、ロボットでお腹いっぱい食いだおれツアー!”です!」

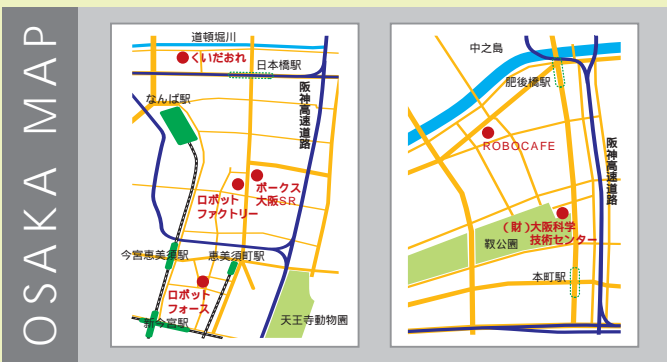
朝一番から元気いっぱい高橋嬢に連れられて、やってきましたよ新大阪。さて、大阪に着いてまず会わなきゃいけないロボットといえば、やっぱり「くだおれ」の看板ロボ「くだおれ太郎」ですよ。うん。

高橋「……ロボットなんですが、コレ」

というか、からくり人形と言ったほうが正しいんですけど。由緒正しいロボットですよ。残念ながら歩きませんが。何ならほら、振り向けば「かに道楽」のかにロボも。あ、なんか高橋嬢がビミョーな表情になっています。つかみですって、つかみ。



道頓堀の代名詞・くだおれ人形(本名: くだおれ太郎)。江戸時代のロボット“文楽人形”を基礎として、スプリングやカムで手と首が動いているらしい。



OSAKA MAP